

# 令和4年度（令和5年度実施）事務事業評価表

事業整理番号 0905 - 24

事務事業名	緊急1歳児受入事業	担当組織	子ども家庭部	保育課
-------	-----------	------	--------	-----

事業特性											
事業を構成する予算事業	事業開始年度	4年度	事業終了年度	4年度	計画／一般	一般	計画事業No.				
	単独／補助	国・都補助事業	運営形態	直営	関連するSDGsのゴール			3	5	8	11
① 私立認可保育所関係経費：私立保育所に対する保育委託及び助成経費					②						

政策体系（令和4年度基本計画）			
地域づくりの方向	子どもを共に育むまち	政策	子ども・子育て支援の充実
施策	保育施設・保育サービスの充実【重点】	政策番号	4-2-2
関連する個別計画		計画策定年度	計画期間

## 1. 事業の概要・指標の達成状況

(1)実施の対象（具体的に記載）	認可保育施設に次年度4月（1次、2次）の入所申請をしたが、入所に至らず、保留となっている一歳児							
(2)事業の目的・期待する効果	認可保育所における空き定員や余裕スペース等の既存の社会資源を有効に活用することで、1歳児に対する保育需要に対応し、待機児童の解消へつなげる。							
(3)事業概要	スペースに余裕がある4・5歳児の保育室や遊戯室等を有効活用し、保育需要が高い1歳児の児童を緊急的に受け入れを行う保育事業者に対し、運営費を補助する。							
(4) 目標の達成状況	4年度の取組内容 4年度に実施した具体的な業務内容	実施事業者2園を選定し、対象者に事業案内を行ったところ、1名の申し込みがあり、1事業者に運営費補助を行った。						
	成果指標 事業目標の達成度	成果指標	目指す方向性	単位	3年度（実績）	4年度（計画） 4年度（実績） （達成率）	5年度（計画値）	
	① 待機児童数 ※実績は翌年度4月1日数値	→	人	0	0	0	100%	0
	②							
③								
指標の説明	各年度4月1日入園を希望し、保育の必要性の認定（2号または3号）を受けたうえで、特定保育・保育施設又は特定地域型保育事業を利用できていない者の数。							
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由						
(5) 取組実績	活動指標 事業の実施状況	活動指標	目指す方向性	単位	3年度（実績）	4年度（計画） 4年度（実績） （達成率）	5年度（計画値）	
	① 受入可能園数	→	園	0	2	1	50%	2
	② 受入人数	→	人	0	4	1	25%	4
	③							
指標の説明								
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由 本事業対象者の申し込みが見込よりも少なかったため						

## 2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	3年度		4年度			5年度	
	予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R4決算比)
事業費	A		22,080	2,775	12.6%	13,800	11,025
人件費	【正規(人数)】	—	—	(0.10)		(0.10)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	—	—	(0.00)		(0.00)	—
	人件費 B	B	—	0	850	850	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	—	0	3,625		14,650	11,025
財源内訳	国、都支出金		9,504	1,873		5,940	4,067
	使用料・手数料	D					0
	地方債・その他						0
一般財源	E=C-D	—	0	1,752		8,710	6,958

### 3. 総合評価及びR5年度以降に向けての対応・改善策

(1)令和4年度成果と課題	<b>【指標の達成状況(a)】</b> →S、A、B、C、Dの5段階で評価	A	根拠	成果指標は達成、活動指標は未達成だが、指標に表れない成果も踏まえた。
	※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。 ※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。			
	①目標に対する成果状況を踏まえた課題			
	認可保育施設に入園できたことから、本事業の利用に至っていない。今後もニーズの見極めが必要。			
	②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果)			
	対象者にサービスを提供できる体制を整えられた。			

(2)業務(事務)改善にむけての取組み	<b>【業務(事務)改善に向けての取組み(b)】</b> S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	保育事業者に意向調査を行い、選定を行っている。
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。			
	①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲)			
	認可保育施設に入園できたことから、本事業の利用に至っていない。今後もニーズの見極めが必要。			
	②現状の実施状況における所管課の認識			
	事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	「有」の場合は対応策も記載。
	直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	無	選択の理由	保育事業者に対する補助事業であるため。
	サービスに係るコストは適正か	適正	選択の理由	補助額を1歳児1名に対し支払われる通常の運営費と同額にしているため。
	統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名	
	③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況			
	対応、改善を既にを行った	いいえ	はい	取組内容及び効果
	対応・改善予定(上記では無い場合は更なる)	有	無	対応、改善の予定がない理由
	選択肢に関わらず	有	有	対応、改善の内容
				保育事業者に実施意向アンケートを行う。
				予定時期
				9～10月
	有	無	有	予算措置を伴わない実施との比較検討
				予算措置を伴う理由

(3)必要性/優先度	<b>【区が実施する必要性(c)】</b> S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	保育事業者に対する補助事業である。
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。			
	①区が実施する理由(複数選択可)			
	<input type="checkbox"/>	区他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/>	法律の要請を受けて行う事業である。
	<input checked="" type="radio"/>	民間事業者等に同様のサービスがない。	<input type="checkbox"/>	その他(理由)
	②区民ニーズ			
	区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)
				②
				指標番号(成果)
				推移
				増
				推移
				サービス利用者数
				50名未満
				「有」「無」ともに記入
	区民ニーズに対する認識	1名の利用実績があった。また、入所申請をしたが入所に至らず、保留となった一歳児が10名いたことから、潜在的なニーズはあると考える。		

総合評価(d=a+b+c)	ランク1
---------------	------

#### 4. R5年6月末時点の状況

①令和5年度当初の課題・ニーズ	1歳児の保育需要は高く、令和5年7月入所可能数は52名である。
②国・都の動き（関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など）	令和5年度も緊急1歳児受入事業費補助金を東京都が実施予定のため活用する予定
③令和5年度の方向性・取組方針（事業展開）	1名の利用者がいるため、都補助金を活用し、引き続き利用者・事業者に対し適切な処理をしていく
④令和5年度の事業進捗状況（6月末時点）	1名の利用者あり
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	本事業に関しては特にはないが、引き続き待機児童ゼロ達成については要望がある状況
⑥上記⑤に対する対応	令和6年度も認可保育施設に次年度4月（1次、2次）の入所申請をしたが、入所に至らず、保留となっている1歳児が活用できるように、本事業実施事業者を確保し整備していく

今後の事業費予算要望(e)	現状維持	根拠	1歳児の保育需要は高く、待機児童が発生する可能性があるため。
---------------	------	----	--------------------------------

今後の事業の方向性(d+e) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	A:現状維持
---	--------

#### 《上記判断を踏まえた所管課の認識・R5年度以降に向けての対応》

「今後の保育施設の整備方針について」において、待機児童対策として、既存の保育施設の有効活用などを検討することで、令和5年度(令和6年4月)と令和6年度(令和7年4月)は新たな私立認可保育所を整備しないとしていることから、令和6年度も継続して新拡提案を行う予定。